

平和展

戦場の真実を追うフォトジャーナリスト

広河隆一写真展

～パレスチナの悲劇～

広河隆一さんは、常に世界の戦争の現場を被写体としてきました。
今回の写真展は、彼の仕事の原点となったパレスチナです。長い年月の間
しいたげられてきた、パレスチナの民の怒りと悲しみを感じてください。



2008.8.20 (水) ～8.27 (水)

10:00～21:00 エセナおおた 2階談話コーナー

主催：大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

共催：大田区

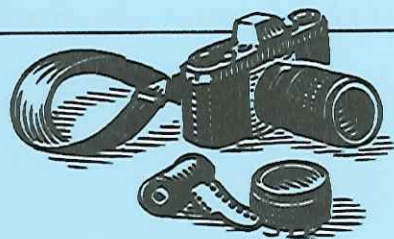
この事業はNPO法人男女共同参画おおたが区の補助を受けて実施しています。

写真家 広河隆一の軌跡

1943年、中国天津市に生まれ、2歳の時に日本に引き揚げた。大学卒業後、イスラエルに渡り、1970年に帰国。以後中東問題と核問題を一貫して追いかけて、取材を続けてきた。1982年にレバノン戦争とパレスチナ人キャンプの虐殺事件の記録で、よみうり写真大賞を受賞した。同記録は、IOJ世界報道写真コンテストの大賞・金賞を受賞している。

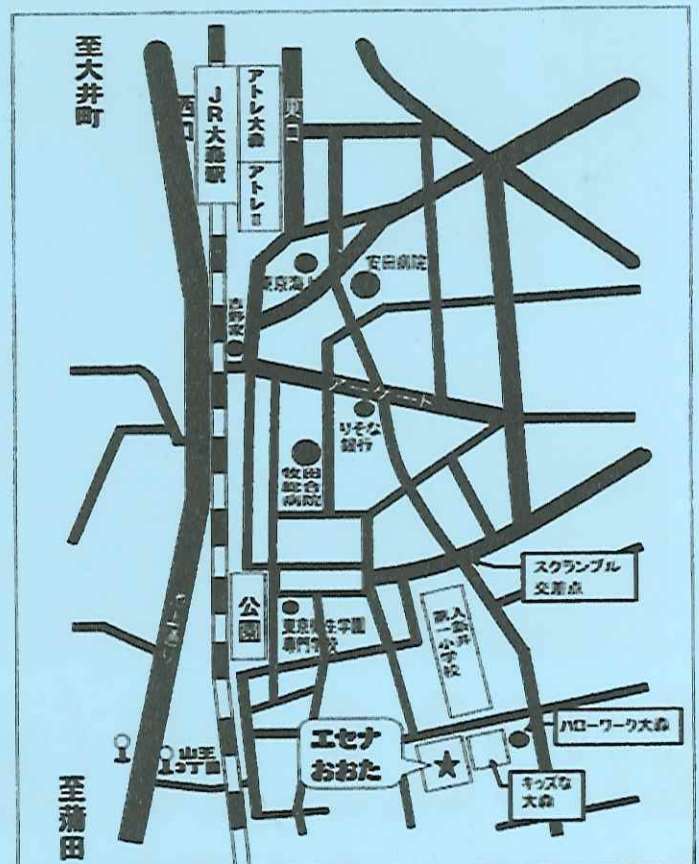
戦争が人々の暮らしを圧迫し、命を傷つけていく中東の様子を、粘り強く追跡して、現在に至る。またチェルノブイリとスリーマイル島の原発事故の取材も有名である。

雑誌「DAYS JAPAN」の編集長。ノンフィクション・写真集・小説・訳書などを多数執筆している。



パレスチナ

キリスト教・イスラム教・ユダヤ教の聖地とされたエルサレムを擁するパレスチナは、いつの時代も各民族の争奪戦に見舞われてきました。第2次世界大戦終結後も、ユダヤ人がイスラエルを建国してからは、いつも戦闘が絶えない最悪の状況になってしまいました。まさに中東の火薬庫であり、そこで暮らす人々の命は、常に危険にさらされています。



JR京浜東北線 大森駅より徒歩8分
駐車場はありません。

● 問い合わせ先

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

〒143-0016 大田区大森北4-16-4 電話 03-3766-6587 FAX 03-5764-0604